

19番 東 秀哉 議員

1 立地適正化計画の居住誘導施策について

- (1) 誘導区域内の空き家や空き地等を減らし居住を増やすために遊休不動産の有効活用に関する施策や居住誘導区域内への居住を後押しするための施策を推進することとしている。具体的に示されたい。
- (2) 本市が独自に定める地域生活拠点維持区域と既存集落との関連をどのように考えるか。既存の農漁村集落を維持し活用するための施策も大切であると思うが、どのように考えるか。
- (3) 低未利用地（空き地等）の有効活用促進について、その検討の進捗状況について示されたい。
- (4) 都市計画について市民に広く理解していただくために、都市計画の将来構想や具体的施策などをネット掲載のみではなく、本庁舎や各総合支所・学習センターなどに分かりやすくパネル展示する必要があると思うが、どうか。

2 有機フッ素化合物PFOS・PFOAについて

- (1) 有機フッ素化合物PFOS・PFOAは発ガン性・免疫力低下・ホルモンの攪乱等の健康への影響が懸念されており、国は水道水中の残留について両物質合算数値として50ng/lの暫定目標数値を設定している。本市での水質検査は行われたのか。また、その結果はどうか。
- (2) 2010年、我が国では製造・輸入・使用が禁止となったが、それ以前の使用による影響も懸念される。地下水・河川・一般廃棄物最終処分場等の浸透水等についても調査する必要があるが、どうか。

3 難聴児補聴器購入費補助制度について

- (1) 発語やコミュニケーション能力及び教育上必要な能力の確保を図るため、18歳未満の難聴児に対し補聴器購入に係る費用を助成しているが、短期間での成長が著しい難聴児にとってイヤモールドの交換は避けられない。イヤモールドの交換についても補助対象とすべきであると思うが、どうか。